

○東北教区より、詳しい震災に関するレポートが出ました

今回の震災の被災地となった東北教区より、被災教会の様子や、信徒の被災状況、支援活動の様子等が、カラー写真を交えて詳しく報告されています。各教会では、掲示されると共に、幅広く回覧できるように配慮下さい。

○震災から1か月、祈りを捧げましょう

3月11日の地震発生から間もなく1か月となります。4月10日(日)の主日礼拝において、東日本大震災の犠牲者や被災者、そして支援活動を行っている人々のためにお祈り下さい。主教会の要請により管区礼拝委員会により、今回の震災に際しての「祈り」が作成されました。「代祷」と「嘆願」の形式の内、どちらかを選んで礼拝の中でお用い下さい。また併せて、釜石神愛教会・神愛幼児学園と、そこでの支援活動、そして飯野司祭の働きと、留守の間のご家族、オホーツク3教会のためにもお祈り下さい。

○飯野司祭、釜石へ

飯野正行司祭は、4月7日(木)に盛岡経由で、釜石神愛教会・神愛幼児各園に入られました。当日の深夜、震災以来最大の余震に見舞われ、釜石でも震度6弱。飯野司祭は、園庭に飛び出し、座り込まれたそうです。津波のおそれがあったため近所の方の車に同乗して避難され、眠れぬ一夜を過ごされたとの事です。そんな着任第一目を終えて、余震の影響で再び市内全域停電となる中、釜石での働きを開始されました。飯野司祭は、約1か月間を想定しての派遣です。この間に復活日を迎える紋別聖マリア教会・北見聖ヤコブ教会・網走聖ペテロ教会には、札幌より池田亨司祭が派遣され、吉野暁生執事との協働でのイースター礼拝が行われる予定です。今回の派遣期間を、道東分区の教役者の協力とオホーツク3教会の皆さんのご理解によってお支えいただけます。「教役者を、一か月派遣する事は、その司牧している教会には大きな不便をおかけする事になります。しかしながら、このような大震災の被災者の救援・支援活動に従事することの重要性を考えた時に、その教役者の不在の間の不便を皆で忍耐し、出来る限り他の教役者が協力する態勢をとるようにしたいと願っています。釜石での活動が続く間、教区内の教会、また教役者の皆様には色々な協力をお願いする事になります。」

(4/2付けの植松主教からの教区内各教会への発信文より)

○安否情報

岩崎祐三さん(ご家族が稚内教会出身)は、家ごと500メートル流され、家が架線に引っかかりそこから奥様と抜け出て助かったということです。着の身着のまま逃げて、現在は特養老人ホームの嘱託医として被災者の診療に多忙な毎日を送っています。

○支援ニュース「至急便1」が発行されています

4/4に支援室ニュース「至急便」の内容は「現時点での支援物資の確実な送付手段」「支援ボランティアの事前登録の開始」「車・カーナビの提供のお願い」等です。

また、「ボランティア登録カード」が、各教会に送付されています。「登録カード」は、北海道教区のホームページからも、ダウンロードする事ができます。

【震災支援室からのお願い】

◎ ニュース定期便は、各教会において掲示下さると共に、増刷して配布ください。

◎ 教会や個人での取り組みについても、お知らせください。他の教会の活動の参考になります。

【連絡・問合せ先】 電話：011-561-0451、ファクス：011-736-8377

Eメールアドレス：saigai@nsskk-hokkaido.jp